

1 題材名「ようこそ！白の世界へ」

2 題材について

学習指導要領図画工作科の第5学年及び第6学年の目標は、(1)「創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。」(2)「材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。」である。また、この目標をうけて、ア「材料や場所などの特徴を基に発想し想像力を働かせてつくること。」イ「材料や場所などに進んでかかわり合い、それらを基に構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながらつくること。」と内容が構成されている。本題材は、これらの目標と内容をうけて設定したものである。

本題材「ようこそ！白の世界」では、紙や布、発砲スチロールやプラスチックなど様々な材料に触れて楽しむ造形遊びを行う。さらに、「白」という色や材料から、一人ひとりがイメージを膨らませ、そのままでは無機質な図工室の空間を、今まで見たこともないような「白の世界」へ作りかえていく活動へと発展させていく。初めは個々の活動から始まるが、自然に周りの友達と協力して活動の範囲を広げ、ダイナミックに取り組めるようにしたい。

本題材では、「白」という色に絞り、様々な材料を使って活動を行っていく。「白」という色は、質感を際立たせる。同じ白い材料でも、白さの違いや、硬いものや柔らかいもの、光を通すものと通さないもの、光沢があるものとないものなど質感の違いがある。例えば白い布は、ふわふわしているものとごわごわしているもの、透け感のあるものとないもの、綿でできているものと麻でできているものなど多くの違いがある。「白」という色の材料を集めて活動を行うことで、材料の質感に注目し、それらの良さを生かせるようにしたい。さらに、材料を「白」という色に絞ることで、自然に形に目を向けさせることができると考えた。色という選択肢がない分、形の面白さに気づき、組み合わせを工夫できるようにしたい。また、本校の校舎は「白」を基調に設計されているため、子どもたちは普段から「白」に囲まれて生活をしている。同じ「白」でも様々な材料を使って工夫をすることで、まったく違った世界を作り出すことができるという体験を味わわせたい。さらに、本題材を行う図工室は一番奥にあり、子供たちにとってあまり訪れる機会のない場所でもある。より多くの子どもたちを「ようこそ！」と招き入れるような「白の世界」を作り、広げていくという目的意識を持って活動に取り組めるようにしたい。

本学級の児童は、発想を広げて活動することに課題がある。今回の題材では、造形遊びの特色を生かして様々な材料に十分に触れ、体全体を思い切り使って活動することを通して発想力を育てていきたい。子どもたちの発想を助ける手立てとして、材料と触れ合う時間と場を十分に設定する。材料は子どもたちが自分で集めてきたものに加え、できるだけ多くの素材に触れられるように教師側でも多くの材料を用意する。集めた材料は、6年生のワークスペースに置き、子どもたちが自由に見たり触ったりできる場を設定する。本題材全体を通して「白」にこだわって活動を行っていくが、その中で子どもたちの材料の質感や形に対する気づきを大切にしながら、想像力豊かに活動できるようにしていきたい。

3 学習の目標

- (1) 白い材料に関心をもち、つくる意欲を高める。
身近なものの「白い色」に関心をもって楽しむ。(関心・意欲・態度)
- (2) 自分の作りたい「白の世界」を想像し、材料の特徴を生かしながらつくる。
集めたものの材質や形、手触りや白さの違いを感じながら思いを広げる。(発想や構想の能力)
- (3) 材料の組み合わせや場所の特徴を考えながら工夫する。(創造的な技能)
- (4) 友だちや自分の発想や工夫したところを認め合う。
互いの感じ方や活動のしかたを認め合う。(鑑賞の能力)

4 評価規準

| 時 数 | 評価規準 | | | |
|--------|---------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------|
| | 関心・意欲・態度 | 発想・構想の能力 | 創造的な技能 | 鑑賞の能力 |
| 4 | 身近なものの「白い色」に関心をもって楽しんでいる。 | 集めたものの材質や形、手触りや白さの違いを感じながら思いを広げている。 | 材料の組み合わせや場所の特徴を考えながら工夫している。 | 互いの感じ方や活動のしかたを認め合っている。 |

5 指導計画（全4時間 本時3／4）

| 時 | 子どもの活動 | 教師の支援 |
|-----------|--|--|
| 1 | <p>○集めた白い材料をもとに、どんなことができそうか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床いっぱいに広げてみる。 ・触り心地を楽しむ。 ・布にくるまったり、物を包んだりする。 ・種類ごとに分けてみる。 ・好きな感じのものを選んでみる。 ・並べてみる。 ・つなげてみる。 ・違う素材どうしを組み合わせしてみる。 ・ワークシートに「どんな感じがしたか」「どんな感じを表したいか」を絵や言葉を使って記入する。 | <p>○「ようこそ！白の国へ」という題材名を提示し、白い材料との出会いを意識させる。</p> <p>○子どもたちが集めた材料に加えて、教師が集めた材料も提示し、多くの材料と触れ合えるようにする。</p> <p>○材料に触れたり比べたりする中で、違いやよさに気づけるようにする。</p> <p>○材料に自由に触れ、体全体を使って楽しみながら、どんなことができそうか発想が広がるようにする。</p> <p>○擬音語や擬態語、絵や線などを用いてもよいことを助言し、感じたことを表せるようにする。</p> <p>○自分の表したい感じを見つけることで、次の活動につながるようにする。</p> |
| 2 | <p>○集めた材料や机・椅子などを使って発想したことをもとに白の世界を作っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見たことがないような面白い世界をつくりたい。 ・やわらかい感じを表したい。 ・天井から布をつるすと光が透けてきれいだよ。 | <p>○「ようこそ！」と今度はみんなを招き入れるような世界を自分たちで作りあげるという目的を意識させる。</p> <p>○材料どうしをつなげる方法を掲示することで、児童の活動の助けとする。</p> <p>○椅子や机など、安全に配慮して使えるようにする。（窓は開けない・重ねる椅子は3つまでで布テープで固定をする）</p> |
| 3 (本時) | <p>○図工室からワークスペースや階段、プール前へ白の世界を広げていく。</p> <p>○材料や場所の特徴を考えながら、思いついた活動を試し、工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと世界を広げたい。 ・この場所は居心地がいいよ。 | <p>○天井からつるしたり、柱を使ったりできることを伝え、立体的に活動が進められるようにする。</p> <p>○図工室の中をさらに充実させていくとともに、図工室からはみ出してもよいことを伝え、より活動が広がるようにする。</p> <p>○お気に入りの場所を発表させることで、友だちの活動のよさに気づくようにする。</p> |
| 4 | <p>○活動を通して感じたことや考えたことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白という色だけでもいろいろな感じを表せる。 ・普段使っている場所が全然違う場所になったのに驚いた。 | <p>○ワークシートに活動を通して気づいたことや感じたことを記入し、材料や形に対しての考えを言葉で表現させる。</p> <p>○友だちと感じたことを発表しあい、お互いの感じ方を認めあえるようにする。</p> |

6 本時の学習

(1) 目標

- 身近なものの「白い色」に関心をもって楽しむ。〈関心・意欲・態度〉
- 集めたものの材質や形、手触りや白さの違いを感じながら思いを広げる。〈発想・構想の能力〉
- 材料の組み合わせや場所の特徴を考えながら工夫する。〈創造的な技能〉
- 互いの感じ方や活動のしかたを認め合う。〈鑑賞の能力〉

(2) 展開 (3/4)

| 学習活動と内容 | 教師の指導・支援 (○) と評価の観点 (●) | 材料・用具・資料 |
|--|---|-------------------------------------|
| <p>1. 前時の活動を振り返る。</p> <p>2. 課題をつかむ。</p> | <p>○前時に作った感想を聞き、材料のよさを生かしているものや、空間を大きく使って活動しているものを紹介することで、今回の活動への意欲を高める。</p> | <p>集めた白い材料</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>色々な材料を使って、見たこともないような白の世界を広げていこう。</p> </div> | | |
| <p>図工室全体を使って活動していくことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あっと驚くような不思議な世界をつくりたい。 ・もっと世界を広げたい。 <p>3. 「白の世界」を作っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白い布で椅子を包んでみよう。 ・違う材料同士をつなげてみよう。 ・友だちの作っているものと自分のものをつなげてみたい。 ・窓からの光の当たり具合で、白の色が違って見えるよ。 ・机や椅子を使って高さや大きさを出したよ。 ・天井から白いものをつるすと面白い形になるよ。 ・違う素材を組み合わせると面白いものを作ったよ。 ・白の世界をもっと広げていこう。 | <p>○集めた材料の置き方を工夫し、活動が円滑に進められるようにする。</p> <p>○道具を使う場所と使い方を明確にし、安全に活動が進められるようにする。</p> <p>○机や椅子を重ねるときの固定のしかたや安全面の注意を確認し、活動に入るようにする。</p> <p>○個人の活動から始めることで、一人ひとりが考えられるようにする。</p> <p>○選んだ材料について、なぜその材料にしたのかを質問し、素材や形についての気づきを言葉で表現させる。</p> <p>○思うように活動を進められない児童には、友だちの活動を見たり、色々な材料を手取るように声をかける。</p> <p>○工夫しているところをほめ、発想を広げる意欲を高める。</p> <p>●白い材料と空間に関心を持って活動を楽しむ。(関心・意欲・態度)</p> <p>○天井や柱を利用することに気がつかず、平面的な活動になっている場合は、使えるものを提示し助言する。</p> | <p>道具</p> <p>(はさみ・テープ・ボンド・のりなど)</p> |

| | | |
|---|---|----------------|
| <p>4. お気に入りの場所を発表する。 ・ここは、やわらかい感じで落ち着くよ。</p> <p>5. 活動の振り返りをする。 ・トイレットペーパーは、普段普通に使っているものなのに、つるすと動きが出て面白いよ。 ・同じ白でも、材料によって柔らかかったり硬かったり、冷たい感じがしたり、温かい感じがしたりするね。 ・窓からの光の当たり具合でも見え方が変わってくるね。</p> <p>6. 次回の活動の確認をする。</p> | <p>○自分の周りから友だちの活動へ、さらに空間全体へと目が向けられるように声をかける。</p> <p>○個人での活動・友だちとの活動の両方を認め、一人ひとりが十分に活動できるようにする。</p> <p>○光や風の当たり具合に目が向けられるように用具を準備し声をかける。</p> <p>●集めたものの材質や形、手触りや白さの違いを感じながら思いを広げる。(発想・構想の能力)</p> <p>●材料の組み合わせや場所の特徴を考えながら工夫する。(創造的な技能)</p> <p>○自分の気に入っている場所やその場所がどんな感じがするか発表させる。</p> <p>○作り上げた空間全体について、感じたことや考えたことを発表させる。</p> <p>●互いの感じ方や活動のしかたを認め合う。(鑑賞の能力)</p> <p>○今回終わらなかったところについては次回続きを行うことを伝える。</p> | <p>扇風機・ライト</p> |
|---|---|----------------|

<材料>

教師の準備した物

| 紙 | 布 | 発泡スチロール | その他 | つなげるもの |
|--|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・和紙 ・障子紙 ・段ボール ・厚紙 ・お花紙 ・紙テープ ・トイレットペーパー ・紙皿 ・画用紙 ・紙コップ | <ul style="list-style-type: none"> ・レース ・木綿 ・麻 ・サテン ・不織布 | <ul style="list-style-type: none"> ・トレイ ・梱包材 ・箱 ・薄い布状のもの | <ul style="list-style-type: none"> ・羽 ・針金 ・綿 ・ペットボトルのふた | <ul style="list-style-type: none"> ・結束バンド ・洗濯バサミ ・マスキングテープ ・ビニールテープ ・ゴムひも |

子どもたちの集めたもの

- ・トイレットペーパーの芯
- ・発泡スチロールの箱
- ・ペットボトルのふた
- ・空き箱
- ・ラップの芯
- ・布など

その他 (家具など)

- ・イス
- ・机
- ・脚立
- ・マット
- ・コーン
- ・フラフープ
- ・物掛け
- ・パーテーション

☆「白の世界」について 名前（ ）



この写真にタイトルをつけるなら

「 」

気に入っている理由

Empty rounded rectangular box for writing the reason for liking the photo.

がんばったこと・工夫したこと

Empty rounded rectangular box for writing about effort or ingenuity.

気づいたこと・感想

Empty rounded rectangular box for writing about discoveries or feelings.